



マルホンの HOTですまいる

2013 夏号



卷頭特集 認知症疾患センターについて

私は幾つかの医療機関にお世話になって35年余りになりますが、近年の医療技術の向上、医療機器等の目覚ましい発展に伴う医療の進歩は素晴らしいことだと思います。

今回は当院と認知症疾患センターについてご紹介させていただきます。

当院は、高崎市で精神科を中心に診療を行っている医療機関です。病床数は522床、一般診療として内科、外科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、循環器科、泌尿器科、歯科口腔外科等、他全17項目の診療科を擁しております。今回はその中で精神科について紹介致します。

平成22年4月の診療報酬改定時に認知症専門診断管理料（届出要）が新設され、当院も関東信越厚生局からの受理をいただき診療を開始しました。当初の半年程は月に3～4名と少なく、閑古鳥がないていました。9月に県より認知症疾患センターとしての承認を得ることができ、ホームページに掲載してからは、問い合わせや近隣の医療機関からの紹介も多くなり、今では予約制にさせていただくまでになりました。



医療法人山崎会

サンピエール病院

医事課

伊藤孝一様

ました。お待ちいただく時間を極力短縮し、患者さん、ご家族の方のご負担を軽減させる診療体制になるよう心掛けております。

難しいといわれるごく初期の段階での診断に有用な専門的検査が可能で、予防のための生活指導やメタボリックシンドロームの治療、自宅や施設での対応困難例の治療、長期療養、合併症の治療に至るまで幅広く患者さんのニーズにお応えしています。また国内で認可されている4種類の認知症治療薬・漢方薬を中心とする薬物療法や地域福祉との連携を通して認知症中核症状の進行予防や周辺症状の緩和を目指しております。

担当医師の言葉の拝借になりますが「認知症は日本社会の高齢化とともにその増加と症状が注目されています。皆さんもご存じのように、全ての方にとって予防と早期発見は重要なことです。」

群馬県内には11施設の認知症疾患センターがございます。「最近、祖父が・祖母が…」「叔父が・叔母が物忘れがひどい。」などで家族や親戚、隣近所の方で、お悩みあるいは気になる方がいる場合には、お近くの疾患センター若しくは市町村役場に問い合わせ、相談されることをお勧めいたします。



サンピエール病院様全景(高崎市上佐野町)

認知症外来診療日

	月曜	火曜	水曜	木曜
受付時間	9:00	～	11:30	

連絡先: 027-347-1177

※初診の方は来院される数日前に予約を入れることをお勧めします

いきいき HOTさん

群馬県前橋市

佐藤 晃(81)
さん



はじめまして。佐藤晃と申します。
私は前橋市は大手町で生まれ、最終的に宮城村、今では先の市町村合併に伴い前橋市となつたため、生粋??の前橋市民です。

そんな私の記憶が確かならば在宅酸素療法を始めてから10年くらい経ったと思います。在宅酸素を始めた経緯は、体調不良を訴えて、前橋赤十字病院さんの知り合いの先生を頼ってお伺いしたところ、その場で1週間の入院となり、退院する際、在宅酸素を始めるとその先生から言われ、先生の指示に従いました。初めは、鼻に付けるチューブ(カニューラ)に対して、見た目や違和感に戸惑いや不安を感じ、かなりの抵抗感がありました。

しかし、先生からの指導や在宅酸素療法のお手伝いをしてくれる業者さんが、親切なアドバイスや、在宅酸素への悩みを聞いてくれるおかげで、次第に抵抗感や不安が少しずつではありますか解消され、昔からの趣味であったお寺や神社を携帯用酸素ボンベを持って巡るようになりました。



佐藤さんの御朱印帳コレクション



一番のお気に入りは吉祥寺(川場村)

県内外のお寺を巡り、それぞれの本堂やその周辺にある建築様式をみて思いを巡らせて眺めていることが好きでした。また、忘れてはいけない、むしろこちらが主役なのですが、それなお寺や神社の御朱印を集めること、いわゆる「集印」ですが、それが楽しみでした。あの墨で書く文字の達筆さ、それぞれの神社やお寺さんによって違うため、味があり、またいただいた時の達成感に近い気持ちがたまりません。

時折、その集めた御朱印帳を見ては、思い出に浸ることもあります。思い出は本当に良いものだと。人生の糧になります。ただ、いろいろな事情があり、同じ前橋市内ではありますが、新天地にきました。そのため趣味である神社やお寺さん巡りをすることは難しくなりましたが、新しい環境に慣れ、前向きな気持ちで、人生を歩み進みたいと思う今日この頃です。

最近は気温が上昇し暑いですが、お体に気をつけていただき、頑張りましょう。

マルちゃん ギャラリー



今はもう描くことができなくなってしまいましたが、数多くの切り絵を描いてきました。今回は家にある作品の中から、2枚の切り絵を紹介させていただきます。



「川越の街並み」

渋川市 渡辺 千穂子さんの作品



当社は高圧ガス容器専門メーカーで、HOT患者さまがお使いになっている「在宅酸素療法用携帯用酸素ボンベ」(FRPボンベ)を埼玉県さいたま市岩槻区で製造しております。

このFRPボンベは、1982年に日本国内では初めて通商産業大臣の“特別許可”取得をして以来、米国からのFRPボンベの輸入も含めた長年の豊富な経験に基づき、最新の製造技術・最高の繊維素材を活かした製造をしております。

炭素繊維巻きつけ工程



HOTの縁の下の力持ち

酸素ボンベ製造



株式会社 旭製作所

安心の充填量、患者さまに心地よい安心感をもっていただけるよう、特殊処理による滑らかな美観が特徴です。ご使用時におきましては、ボンベの『注意ラベル』内にも記入されておりますが、『酸素の吸入場所から5m以内(在宅酸素療法では直近)での喫煙、火気あるいは引火性物質の使用は厳禁です』のでくれぐれもご注意して下さい。



株式会社旭製作所プロフィール

埼玉県さいたま市岩槻区掛7915番地

TEL048-758-8071/FAX048-758-8077

設立 昭和28年

従業員数 110名



天井が高いので収納力抜群です



倉庫外觀

太田医療営業所では、ご使用者さまと取扱機種の増加に伴い、今までの倉庫が手狭になったため、会社敷地内に新倉庫を建設しました。5月20日より本格稼働しています。倉庫面積は約20坪と広くなり、機器の管理や清掃・消毒などのリサイクル作業、消耗品の在庫管理もスムーズに行えるようになりました。

これからも、皆様の要望に素早く対応し、安心をお届けできるよう努力してまいります。

Vol. 16

頑張ってます!

HOTな社員

こんにちは。高崎地区の営業・点検等を担当している佐藤邦浩と申します。渋川市（旧子持村）出身です。10年前から地元でミニバスケットボールの監督をしています。現在は1年～5年までの13名で活動しています。今年も12月に群馬県代表で千葉県の大会に出場することが決まっているので、みんなで一生懸命頑張っています。



私は入社して16年目になります。患者様に機器やボンベの説明をさせていただいくと、難しいとかすぐに忘れてしまうなどと言われることがあります。忘れてしまったり、不安なことや心配なことがあればいつでもご相談ください。皆様が安心して使っていただけるように心掛けてまいりますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

編集後記

■暑苦しい日々のなか、皆様からの冷たい飲み物に助けられています。これからも暑さに負けず頑張っていてうう思います。(いとう)

■この一年、すまいる編集を担当させていただき、読者の皆様に楽しく読んでいただけるよう努力をして参りましたが、力不足のところがあったかもしれません。しかし他の担当の方と協力して頑張ってきました。ありがとうございました。(しらとり)

■暑い日が続き、日中は外出がしづらいかと思います。家の中にいても熱中症になってしまうという話もよく聞きますので、こまめに水分補給をして、暑いときは無理に外出しないように気をつけてください。(かわうち)

■ご協力をいただいた皆様に感謝をし、またこれからもご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。一年間ありがとうございました。(きくち)